

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トライバル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.037	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トライバル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：スラッシュ・フレンジー

フレアーの幅 インチ

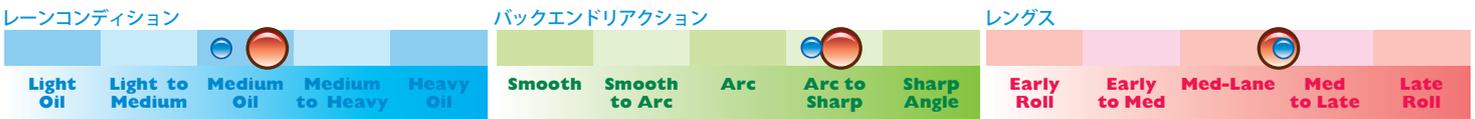
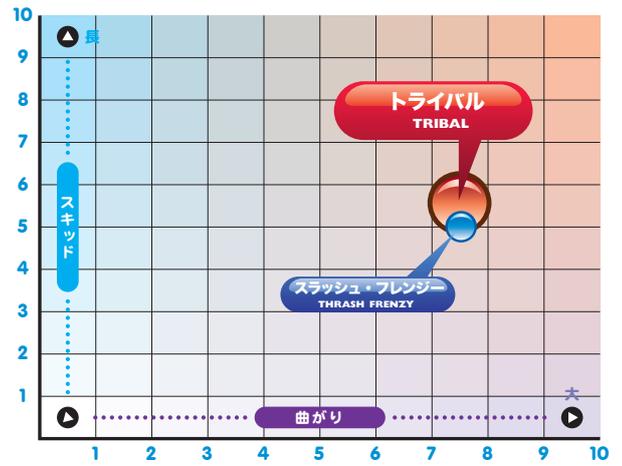
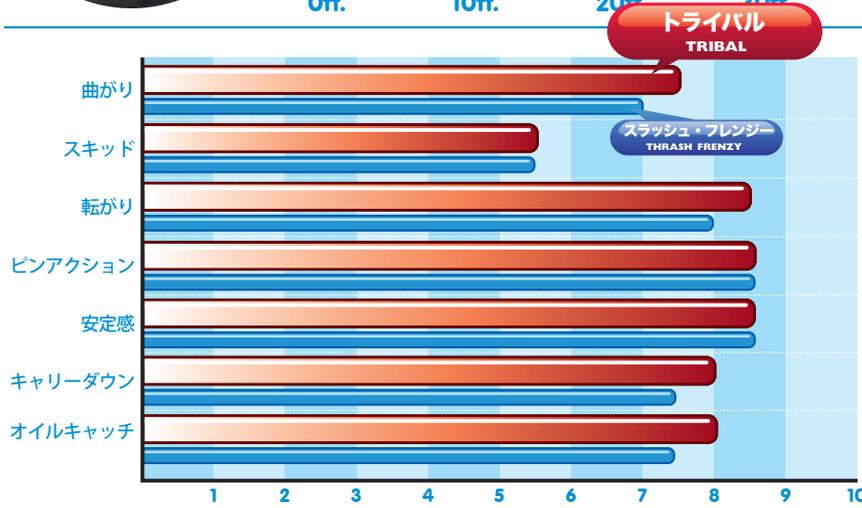
PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

番

研磨剤



ボールの評価

MOTIVの新時代を築く前作のPRIMAL RAGEは発売前から評価が高く、いきなりJake PetersプロのPBAツアー優勝から始まり、リージョナルで日本でもおなじみのDanny Wisemanプロも勝利を挙げ、脚光を浴びました。

今回ご紹介するTRIBALは、PRIMAL RAGEと同じ、過去最高のフック評価のRaptor TalonのFusion ReactiveのPearlバージョンのFusion Pearl Reactiveカバーストックと新開発のHalogen coreの組み合わせで、ミディアムコンディションを中心にキャッチの中にもやや軽めのスキッドとシャープなバックエンドリアクションが特徴と言えるでしょう。

今回のTRIBALはTHRASHの後継モデルなのでTHRASH FRENZYとパフォーマンスの比較を行いました。双方の仕上げの番手は同じでもTRIBALのFusion Pearl ReactiveとTHRASH FRENZYのWhiplash Pearl Reactiveとの差は歴然で、スキッド具合は同じように感じても、ミッドエリアからバックエンドにかけてのオイルに対しての安定感はFusion Pearl Reactiveは抜群で、キャリアダウンの感じ方や特に表面の光沢をやや落とした時の双方のリアクションの差は、定評のあるWhiplash Pearl ReactiveよりFusion Pearl Reactiveの恩恵は大きいと言えます。

MOTIV社はVENOMシリーズやPRIMALシリーズなどで斬新な配色でボールを作り上げてきますが、このTRIBALもなかなか惹きつけられる魅力的な色の配合で、特にTRIBALのロゴのつくりとCharcoal Pearl/Silver Pearlに真紅の”M”のMOTIVのロゴは、文句のつけようがないぐらいのセンスの良さを感じます。性能も申し分なしで配色も文句のつけようがない。数量限定で完売の可能性が高いボールです。オーダーは早めに!

特記事項

MOTIV最新作は、全世界に名を知らしめたPRIMAL RAGEと同じFusion Pearl Reactiveカバーストックと新開発Halogen coreのTRIBAL。パフォーマンスだけでなく、配色・ロゴのセンス申し分ありません。